

財務局長挨拶

【 第3回北陸地域連携プラットフォーム 平成26年6月6日(金) 】

本日は御多忙の中、第3回の「北陸地域連携プラットフォーム」に御出席をいただきまして誠に有り難うございます。

開会に当たり、一言御挨拶申し上げます。

御承知のとおり、このプラットフォームは、年明けとともに立ち上げまして、先ずは、北陸にとっての喫緊の最重要課題として「人口減少・少子高齢化」について取り組んでいるところです。

その後、国でも経済財政諮問会議に専門調査会として「選択する未来」委員会を設け、「人口急減・超高齢化社会」についての危機意識の共有と「未来を変える」ための議論を始めました。先ごろ「これまでの議論の中間整理」を公表したところです。

先ず、「現状のまま何もしない場合の未来像」として、「マイナス成長が定着し」、「格差の固定化・再生産に陥り」、「地方では1／4以上の自治体に消滅可能性が高い」など、大変過酷な状況の共有を提示しています。

その上で、「制度、政策や人々の意識が速やかに変われば、「人口急減・超高齢化社会」への流れは変えられる」とし、「若い世代や次の世代が豊かさを得て、結婚し、子供を産み育てることが出来るよう、集中して改革・変革すること」を提案しています。

そして、選択する未来像について、5つの目標を掲げていますが、その具体策は今後の議論を待つことになっています。

今後、この具体策がどのような形で出てくるか分かりませんが、地域で育まれた伝統、文化、価値観などの下で、「日本で一番幸せな地域」と評される当地域の方々が「未来に求める幸せ」を実現するためには、つまるところ地域のことは地域で考え、議論し選択して行くほかないと思います。

それを推進する「場」として、是非このプラットフォームを活用いただきたいと考えている次第です。

さて、第3回目となる今回は、国土交通省の和田都市計画課長をお招き致しました。和田課長は、我が国の行政における都市計画や住宅政策などの第一人者であり、本日は、「コンパクトシティとこれからの国土」と題して御講演をいただきます。大変な御多忙にも拘わらず、講演資料もとても丁寧に作成いただいておりますので、講演後の活発な意見交換もお願い致します。

次回以降は、これまでの議論や地域の実情を踏まえて、北陸地域における未来の選択に資する議論を深めていきたいと考えています。北陸地域の、お一人お一人が幸せを実感できる地域の未来を積極的に選択していく、そして未来に向かって自ら働きかけていく、そう云う連鎖とそれぞれの地域における議論の広がりを期待して、簡単ではありませんが、私の挨拶とさせていただきます。

以上